大三小だより

令和８年１０月３０日
練馬区立大泉第三小学校
校　長　　髙野　正之
No. ７０７

接点を増やす

校長　髙野　正之

１０月は、いちょう学級の宿泊学習、低・中学年の遠足、６年の中学校説明会など、校外での学習場面が多くありました。また、５年の「お米の学校」「ファミリーeルール」をはじめとして、連日のように、外部講師や地域・保護者の皆様に授業への支援を行っていただきました。

多様な経験をもつ大人が関わることで、新たな発見や疑問が生まれ、子供たちの学びが深まっている様子が伝わってきます。その中で、子供たちは、人との接し方や社会のルールを学んでいきます。関係の皆様に心より感謝申し上げます。

近年、孤独や孤立が心身の健康に及ぼす影響が明らかになる中、地域の人や場所、活動とのつながりを生かして健康を支える「社会的処方」が注目を集めています。社会疫学の第一人者である京都大学教授の近藤尚己さんは、人とのつながりは、単に「健康に影響する要因」ではなく、「健康そのものの一要素」と考えるべきだと強調しています。そのためにも、地域にどのような人や場所、活動があるかの情報を集め、更新しながら活用することが重要だと述べています。

「新しい制度を作るよりも、まず既存の制度や資源をアップデートし、人と人、人と地域の接点を増やしていく。それが現実的で、持続可能だと考えています。

地域の様々な人が、それぞれの立場で人を気遣い、必要に応じて誰かにつなげることが大切です。」

本校でも、コミュニティ・スクール導入を機に、地域の方々とのつながりを広げています。子供たちの変化に気付き、声をかけ、寄り添ってくれる存在が着実に増えていることを実感しています。

●１１月の生活目標　「気持ちよく はたらこう」

この仕事をしたら友達が喜んでくれた、自らの働きで教室がきれいになって嬉しかった・・・など、仕事への満足感や達成感を味わえるとますます働く意欲がわいてくるのではないでしょうか。

１１月は、「気持ちよく はたらこう」を目標に、働くことの素晴らしさをいっそう感じられるよう声をかけていきます。

■毎月の生活の振り返り

１１月は「ふれあい月間」です。各学期に１回設けている「いじめ防止強化月間」ともなっています。誰もが安心して学校に通えるよう、全校児童が「いじめ防止標語」を作成します。各学年の代表作品を校長室前の壁面に掲示しますので、ご来校の際はぜひご覧ください。

友達との関係などで困りごとがある場合は、必要に応じて担任が聞き取りを行っています。保護者の皆様も、お子さんのことで何か気付いたことがあれば、遠慮なく学校へご相談ください。